

評価報告概要表

■第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 山口県社会福祉協議会
評価調査日	平成25年11月6日（水）

■福祉サービス事業者情報

名 称	ケアハウスゆうわ苑	種 別	軽費老人ホーム
代表者氏名	施設長 中村雅彦	開設年月日	平成11年3月10日
設 置 者	社会福祉法人 恒和会	定員(利用人数)	50人(50人)
所 在 地	〒742-1352 柳井市伊保庄字近長浜1-4		
電 話 番 号	0820-27-6001	FAX番号	0820-27-0800
ホームページアドレス	http://yuwaen.net/		

■総 評

全体を通して(事業所の優れている点、独自に工夫している点など)

◇特に評価の高い点

本施設は毎年自己評価を実施し、第三者評価についても今回が3回目となることにも現れていますが、施設長の強いリーダーシップのもと常にサービスの質の向上と、適切な福祉サービスの実施をめざし、改善に向けた強い意志が感じられます。また、理念や四訓、基本方針、職員行動規範が掲載された職員必携の小冊子が各職員に配布活用され、新人職員にはプリセプター制度を導入するなど職員育成にもとても力を入れています。そして地域との関係を大切に作り組んできたことにより、地域との関係性が深く、事業展開にも大きく影響しています。また、明るく開放感のある展望風呂や、食堂があり、各居室には私物の持ち込みも多く、浴室には利用者愛用のシャンプーやリンスが置かれているように、利用者が安心して暮らし続けることができる環境づくりに取り組まれています。また、買い物ツアーやレクリエーションをはじめリハビリ体操、ノルディックウォークなど各種の余暇活動や機能回復支援が行われており、その参加においても呼びかけや声かけを大切に、本人の思いや希望を大切に支援しています。利用者と職員が個々に信頼関係が築けており、要望や相談事など気兼ねなく言える環境にあるということは特筆すべき点であると考えます。

◇改善を求められる点

本施設ではサービスの質の向上をはじめ常に業務改善や向上に取り組まれています。自己評価や第三者評価を通じて各種改善を行っていますが、具体的な時期を決め取組における再評価・検討を行うことにより、改善内容の定着や更なる向上につながると考えます。また、多忙な業務の中、各種会議や委員会が開催されていると思われるため、業務の向上と同時に簡素化と、分担または分散について合わせて検討されるとよいと考えます。また、利用者や家族とは日常的に良好な関係にあるものの、今後計画されている定期的な利用者会や家族会を開催することにより、これまで以上に相互の理解や思いが伝わることと思いますので早期の開催を期待します。

※プリセプター制度: 新人職員に対し、現場での指導、相談役として先輩職員が1対1につき、教育指導を行うもの

■第三者評価結果に対する事業者のコメント・事業所のPR

当施設では、入居者様の心身の状態に応じ、且つ個人の尊厳やプライバシーに配慮した個別サービスを心がけて、日常生活の支援をさせていただいております。

現在、私達は地域の方々に認知症緩和ケア推進として、認知症サポーター養成講座、介護者教室、タクティールケアなどを試みています。地域の高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心して住み続けることが出来るよう、その一環として明るく笑顔の絶えない施設運営を目指しています。

評価報告概要表

■評価分野別評価結果(分野別の特記事項)

I 福祉サービスの基本方針と組織	a	12	b	0	c	0	Na	0
<p>理念をはじめ四訓、基本方針、職員行動規範が明文化され、小冊子の職員必携コンプライアンスとして各職員に配布され、朝礼で唱和するなど全職員への浸透に積極的に取り組まれています。</p> <p>また、管理者はサービスの質の向上や経営、業務改善等に強い意欲を持ち、各種会議等で自らのメッセージを各職員に伝え、広報誌等で利用者家族、関係機関にも伝える努力を行っており強いリーダーシップが発揮されています。</p>								

II 組織の運営管理	a	19	b	3	c	0	Na	0
<p>本施設ではケアサービスの向上に向け、職員育成を熱心に行っており、新人職員に対して先輩職員が指導するプリセプター制度を導入されています。また年2回の職員面談を行い人事考課を行うとともに、各職員の意向や思いを聞き、研修や資格について確認し施設の計画にも反映させています。</p> <p>また、「地域との融和」を掲げ、施設内行事へ地域や家族の参加はもちろん、利用者の参加をはじめ、施設として施設職員として地域行事への参加や参画を積極的に行っています。そのためボランティアをはじめ民生委員や地域の方々、消防関係者など70名を超える会合を施設で持つことができ、こうした関係により集めた福祉ニーズをもとに配食サービスを実施するなど、ニーズを事業に反映させていることは特筆されるものです。</p>								

III 適切な福祉サービスの実施	a	21	b	1	c	0	Na	0
<p>本施設では日々の援助や関わりを通じて利用者にとって意見を言いやすい環境にあり、担当窓口が設置されるとともに、職員以外でも傾聴ボランティア研修の受け入れを行うなど、多方面から意見が述べられる環境ができています。</p> <p>また、利用者満足の上昇についてアンケートの実施をはじめ、サービスの向上委員会において検討を行うなど組織的に利用者満足を意識した取組が行われていることは高く評価されます。そして、年1度の自己評価をはじめ本第三者評価も3回目の受審となり、受審ごとに問題課題に取り組み、サービスの質や取組の向上に向けた改善を行い続けていることは特筆されることです。</p> <p>評価事業を通じて随所に更なる改善の取組が見られ、各種委員会の見直しや、事務分掌等の改善に取り組まれているが、時期を区切り定着や実施状況について確認・再評価を行うことにより更に発展が期待されます。</p>								

IV 良質な個別サービスの実施	a	23	b	2	c	0	Na	3
<p>本施設は、利用者面談で聞き取れたように、とても明るく開放感のある展望浴場や食堂があり、プライバシーが保護された全室個室となっています。</p> <p>また、居室内にベッドや寝具、タンスなど私物が多く持ち込まれ、浴場では利用者愛用のシャンプーやリンスが置かれ、利用者が意向を大切に安心して生活ができるための工夫や配慮が随所で実感されました。</p> <p>また、余暇支援活動が充実しており、毎週行われる買い物ツアーやレクリエーション、カラオケ、お達者クラブ、また心身の維持向上のためにリハビリ体操やノルディックウォークなどが実施されています。これらは案内や声かけなどを通じて、利用者の主体的な思いを大切にされています。</p>								